

# 電源 I -aの必要量試算結果と募集量について

2020年7月9日

---

一般送配電事業者（10社）

# 1. 必要量の試算結果と募集量

- 募集量の設定は、沖縄を除き、各社ともに最新データ（2019年度）実績データを用いる事とした。
- なお、試算結果が7%以上となっているエリアは、7%あれば現状調整出来ており運用可能である事から7%を採用とした。

残余需要ピーク 95%	【参考】 2020度 募集量	2021年度 試算（年間）	2021年度 募集量
北海道	7.0%	9.6%	7.0%
東北	7.0%	7.1%	7.0%
東京	5.2%	5.4%	5.4%
中部	7.0%	7.0%	7.0%
北陸	6.0%	6.8%	6.8%
関西	5.8%	5.8%	5.8%
中国	7.0%	9.2%	7.0%
四国	7.0%	8.6%	7.0%
九州	7.0%	7.3%	7.0%
沖縄 ※1	57MW	7.1%	57MW【P】

※1.沖縄エリアについては「事故時対応調整力」分は含まれない

## ○沖縄設定理由

- 沖縄エリアにおける電源 I -aによる周波数調整の対象事象は、事故時における「事故時周波数低下対策」と、平常時における「30分内残余需要予測誤差および時間内変動対応調整力」であるが、見直しを検討中。
- 上記の検討には一定程度の時間を要することから、現時点においては、暫定的に、2021年度向け調整力公募における電源 I -aの必要量は昨年度と同様に、57MWとする。

## (参考) 2019年度年間データに基づく必要量試算と2021年度募集量の考え方

- ▶ 2019年度データを用いて電源 I -a 必要量を算出。なお、昨年度から計算方法は変更無し。
- ▶ 今年度より電源 I 必要量算出方法に合わせ、需要想定にBG計画を使用。

① 2019年度データ（需要想定・需要実績・再エネ想定・再エネ推定実績）に更新

### 電源 I -a の算出方法

(残余需要ピーク95%以上の30分コマを対象)

事故時対応調整力

$$\left( \frac{\text{単機最大脱落量}}{\text{同一周波数連系システムの系統容量}} \right)$$

+

時間内変動  
対応調整力  
(3σ)

+

**BG** 30分内  
残余需要予測誤差  
(3σ)

② 系統容量を2020年度供給計画の当該年度見通し（離島を除く）に更新

50Hz地域の電源脱落時の必要量を1.45%から**1.42%**に更新  
60Hz地域の電源脱落時の必要量を1.38%から**1.37%**に更新